

Keio University

Faculty of Nursing and Medical Care

慶應義塾大学 看護医療学部

2 0 1 9



2018年、慶應義塾の看護教育は100年を迎えます。



<https://www.nmc.keio.ac.jp>



# 看護の学びを広げ、 あなたの未来を広げる、 慶應義塾

さまざまなライフスタイルが共存する社会の中で、  
人々が健康に暮らすためには何が必要か、  
看護の立場からどのような貢献ができるか。  
それらを追究し、実践するためには、  
看護の対象である人間とその環境を理解し、  
看護学にとどまらず、幅広く学ぶことが重要です。  
慶應義塾大学看護医療学部は、  
総合大学として、医療系三学部を擁する大学として、  
いままでの保健・医療・福祉の枠を越えて活躍できる、  
先導者の育成をめざしています。

写真：ピンキングセレモニー  
看護の象徴として、ピンバッジを与えるセレモニーです。  
学生は看護医療の分野で先導者となるべく、  
将来の目標をステートメントとして発表します。

学びと未来へ、  
慶應義塾の  
オリジナリティ

## 総合大学の強み > p.4

湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部・環境情報学部の  
科目をはじめ、興味・関心に応じて他学部の科目を履修。大学  
病院のある信濃町キャンパスで臨地実習を行います。

## 三学部合同教育 > p.11

医療系の医学部・看護医療学部・薬学部が合同で実施するプロ  
グラム。「グループアプローチによる患者中心の医療実践」に貢  
献することを目的に、三学部の学生が共に学びます。

## 多彩な進路 > p.14

病院や行政機関に就職する人。一般企業で活躍する人。起業  
にチャレンジする人。さらなる学びを志して進学する人。多彩な  
進路は、総合大学で培った能力とスピリットの表れです。

## あなたの挑戦を応援しています

慶應義塾の看護教育の歴史は長く、本年2018年、「慶應看護100年」を迎えます。その源は1918(大正7)年、初代医学部長である北里柴三郎博士が、医療における看護師の役割を高く評価した卓見に基づき、看護婦養成所を設置したことに始まります。その後、福澤諭吉の建学の精神である「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育は、厚生女子学院、看護短期大学へと継承され、2001年の看護医療学部の誕生につながりました。そして今、次の100年を視野に入れた新たな歩みがスタートします。

看護学は、実践科学としてそのあり方を探究しようとするものです。そのためには、人間尊重の精神と豊かな人間性、深い知性と倫理観に基づく判断力と実践力を備えることが必要です。さらに、他の学問分野と相互交流し、実学としての看護医療の発展に寄与できるよう、生涯にわたって研鑽を続けることが求められます。近年では、変動する未来社会を見据え、起こりうる問題を予測し、世界レベルでの健やかさを目指すために、グローバルな視点から変革を起こす力も必須となっています。

看護医療学部は、このような人間性と能力、幅広い視野を身につけ、これからの看護医療の先導的な役割を果たす人材として羽ばたいていくための学び舎です。多様な文化への造詣、人とのつながりや新たな体験を通して自分を見つめ、自分の可能性を探り、その可能性を引き出すための学びの意義を見出してください。総合大学の強みを活かし、さまざまな学問分野の学びや交流を深め、自分を豊かに磨いてください。

あなたの挑戦を応援しています。



慶應義塾大学看護医療学部長

小松 浩子



# 4領域・16分野で構成された、4年間のカリキュラム

## 総合大学の利点を活かした学び

看護医療学部では、総合大学であるという利点を活かし、一人ひとりの興味・関心に応じて他学部の科目を履修することができます。特に、メインキャンパスとなる湘南藤沢キャンパス(SFC)では、総合政策学部や環境情報学部の科目を履修する学生が多く、学部の枠を越えてお互いに刺激し合いながら、視野を広げています。講義・演習科目においては、その専門性を高めるために、積極的に他学部の教員を招いています。また、慶應義塾大学病院のある信濃町キャンパスで、さまざまな病気の患者さんに対する看護や医療の臨地実習を行うことができるなど、2つのキャンパスで効果的に学べる点も大きなメリットです。



## さまざまな実習で高い看護能力を習得

- 高い看護能力を培うために、実習にも重きを置いています。
- 1年次：大学病院での見学実習
  - 2年次：学内演習で身につけた技術を応用し、大学病院や外部の高齢者施設などで実習
  - 3年次：病気で入院中の人、家族に対する看護を学ぶための、大学病院や外部施設(緩和ケア病棟・精神科病院など)での実習
  - 4年次：在宅療養中の人々に対する看護を学ぶための、訪問看護ステーションなどでの実習
  - 保健師選択コース： > p.14 市の保健センター、企業の健康管理部門での実習
  - 助産師選択コース： > p.14 助産院での実習



## 自由な発想を育てる少人数制教育

語学や情報技術科目はもちろん、専門科目において、ディスカッションやグループワークを取り入れた少人数制教育を実施していることも特徴の一つです。特に演習や実習では、1グループを7～10人で構成し、各グループを1～2名の教員が担当。この方法を採用することで、学生が主体的に授業に参加できる環境を作り、教員は全体の学習がスムーズに進むように関わりながら、学生一人ひとりに対してきめ細かな指導を行っていきます。また、自由な発想による意見交換が活発に行われるため、多様なもの見方や考え方に触れることができます。

(2018年4月1日現在)

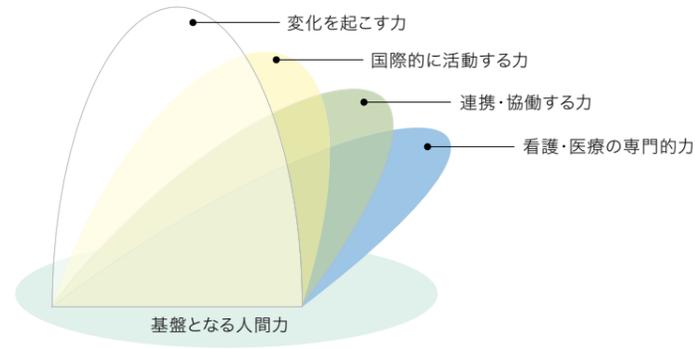
# これからの看護と医療を、5つの力で支えていくために

## ディプロマポリシー (学位授与方針・身につけてほしい5つの力)

学則で定める卒業に必要な単位数を取得することが、学士号授与の要件となります。

現在の学則で卒業に必要な単位数は、必修科目104単位、選択科目20単位以上、合計124単位以上です。

また、卒業までに以下の5つの力を身につけていることを重視します。



〈基盤となる人間力を土台として、それぞれの能力を自由に発展させる〉

### 基盤となる人間力

基本倫理としての生命・人間尊重の精神とともに、人間的に調和の取れた人格を備え、社会人として成長することができる力。ならびに、幅広く社会への関心をもち、人々と出会い交流し、相互作用を起こすことができる力を身につけていること。

### 連携・協働する力

高度化された医療に対応する、さまざまな専門職で構成されたチームにおいて、お互いの専門性を最大限に活かしながら、より優れた実践につなげるために行動できる力を身につけていること。

### 変化を起こす力

看護や医療および社会で起こっている、あるいは起こる可能性がある事象への関心を深め、そこから問題を発見する批判的な力、その問題を解決し、既存の枠を革新していく力を身につけていること。

### 看護・医療の専門的力

これからの社会や、人々の生活を見すえ、看護の知識や技術を駆使して新しい看護活動の場を創造し、保健・医療・福祉を先導するための基礎的な力を身につけていること。

### 国際的に活動する力

国際的な感覚とともに、日本のポジションや役割を的確に捉えることのできる幅広い教養を備え、他の国々の医療専門職と協働できる、柔軟な発想や行動力を含めた基礎的な力を身につけていること。

みなさんに身につけてほしいこれら5つの力は、「人間・社会科学領域」、「健康科学領域」、「看護科学領域」、「統合領域」という4つの領域で構成されるカリキュラムを通して学ぶこととなります。

## カリキュラムの構成

カリキュラムは、上にあげた5つの力を効果的に身につけることができるように、4領域・16分野で構成されています。基礎から実践力までを幅広く養います。

### 人間・社会科学領域

〈情報技術〉〈自然言語〉〈ヒューマンケアリング〉〈制度・社会〉の4つの分野から成り立っています。人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。

### 看護科学領域

〈基礎看護学〉〈母性看護学／助産学〉〈老年看護学〉〈小児看護学〉〈成人看護学〉〈精神看護学〉〈在宅看護学〉〈地域看護学〉〈グローバルヘルス〉の9つの分野から成り立っています。人間をどうとらえ、人間が生きて生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護そのものをどうとらえるか。さまざまな視点からアプローチできる科目が配置されています。

### 健康科学領域

〈健康科学・病態学〉〈先端医療〉の2つの分野から成り立っています。心身の健康と、健康が破綻した際の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

### 統合領域

〈看護・医療統合〉分野から成り立っています。「人間・社会科学領域」と「健康科学領域」における学びを基盤に、「看護科学領域」の9つの分野全体を見渡し、医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。

## 設置科目一覧

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目
人間・社会科学領域 人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー	データサイエンス マルチメディア表現 保健統計学
	自然言語	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	ヘルスケア情報学 プログラミング入門Ⅰ プログラミング入門Ⅱ 看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ
	ヒューマンケアリング	心の理解と共有	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える コミュニケーションの理論と実際 ボランティア体験 体育2・3
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	社会福祉原論 ☆ 世界の医療・保健制度Ⅰ(比較制度論) 世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修) 医療と経済 法学基礎Ⅰ(法律理解への基礎知識) 法学基礎Ⅱ(法律理解への実践知識)
健康科学領域 心身の健康と、健康が破綻した際の病態、その回復過程を理解するための科目が配置されています。	健康科学・病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論	慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学 看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学
	先端医療		救急医学・救急看護 クリニカルエンジニアリングと医療安全管理 先端医療技術 遺伝と医療
看護科学領域 人間をどうとらえ、人間が生きて生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護そのものをどうとらえるか。さまざまな視点からアプローチできる9つの分野の科目が配置されています。	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理	生活援助技術 医療支援技術 看護基本技術 基礎看護ケア実践Ⅰ(看護活動の実際) 基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助) 看護理論と実践 看護と哲学
	母性看護学／助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	性と生殖における健康と権利 ★ 助産理論 ★ 助産技術 ★ 助産管理 ★ 助産実践 ★
	老年看護学	老年発達援助論 老年発達援助実践	
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学	小児看護学演習 小児看護ケア実践
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践	慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践
	精神看護学	精神看護学 精神看護学演習	精神ケア実践
	在宅看護学	在宅看護論 在宅看護技術演習	在宅看護実践
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	公衆衛生看護活動論 ☆ 公衆衛生看護管理展開論 ☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ(行政看護) ☆ 公衆衛生看護実践Ⅱ(産業看護) ☆ ヘルスプロモーション実践 健康教育技法 ☆
	グローバルヘルス		プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ(開発援助論) プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修) 臨床看護実践(海外研修)
統合領域 医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。	看護・医療統合	移行期看護論 医療システムアプローチ実践	ナーシングマネジメント論 ナーシングマネジメント実践 研究デザイン法 先端看護学 プロジェクトⅠ(基礎) プロジェクトⅡ(応用)

(2018年4月1日現在)

## 学問の魅力、みなさんへの期待



### ヘルスケア現場の課題解決に、 情報技術はどのように役に立てるのか

私の専門は「ヘルスケア情報学」です。ヘルスケア分野へのIT(情報技術)の導入はまだ遅れている状況で、研究も十分に行われていたとは言えません。そこで、「効果的な情報技術」とは何かを追究し、新しいサービスをデザイン・開発していくことで、ケアを必要とする人に必要なケアを届けられるような社会を作っていきたいと考えています。

授業では、情報技術主体ではなく、ヘルスケアの現場で誰がどのような意思決定をし、そのためにどのような情報が必要としているのか、を中心に考えます。必要な情報がタイムリーに届いていないとしたら、それはなぜなのか、情報技術はその課題の解決にどのように役に立てるのか、というアプローチで学んでいきます。また、看護医療学部は、同じ湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部や環境情報学部、信濃町キャンパスの医学部、芝共立キャンパスの薬学部と多彩な交流があります。看護という枠を越えて、情報技術をはじめ地域コミュニティ、デザイン、国際協力など幅広い分野で互いに刺激を受けながら、学びを深めていくことができます。

ヘルスケアの現場は、病院の中から地域まで大きな広がりを持ち、多くのステークホルダー(関係者)が参加する複雑系です。ここでは定形的なケアの提供だけではなく、状況に応じたダイナミックな意思決定が必要となります。みなさんには、このような複雑な現場において真の課題を見つけ出す力、その課題を様々な主体の協力によって解決に近づけていく力を身につけてほしいと思っています。

宮川 祥子 准教授

## 自分の4年間をまとめ上げる「プロジェクト」

プロジェクトは、学びを統合させるための4年次の選択科目で、プロジェクトⅠ(基礎)とⅡ(応用)が設置されています。

学びの集大成として、自分の興味や関心に応じてテーマを自由に設定し、研究計画書の作成から、実際の研究、そのまとめまでを行います。また、プロジェクト以外にも多くの選択科目が開講されています。

〈プロジェクト Pick Up〉

### 慢性病をもつ当事者の視点から看護を創る

本プロジェクトでは、慢性病(がん、糖尿病など)をもつ人の視点から新たな看護を探求しています。まず、研究課題(テーマ)の焦点を絞ることから始めます。現象(事象)がわからないと関心事や問題意識は生まれません。そこで、私たちのプロジェクトでは、文献検討に加えてフィールドワークを行い、当事者の方々と触れ合い、体験(声)を聴くことを大切にしています。

プロジェクトでは、講義や演習、実習のようなカリキュラムに則った学びとは異なり、自身の関心事について主体的、能動的に探求することに意義があると考えています。文献を読み、データと向き合い、地道に分析を進めます。論文を仕上げるまでのプロセスには難しいこと、苦しいこともあります。論文を完成させたときの満足感は大きく、達成感に満ちた学生の姿を目にすると教員としても誇らしく思います。

看護医療学部では、教員と学生が教える側と教えられる側という一方の関係ではなく、お互いに立場をわきまえつつも対等に刺激し合い、学び合う関係性を築いています。プロジェクトはそのような関係性を象徴する学びの場です。プロジェクトを通して、現象から学ぶという誠実な態度を養い、個性や能力を発揮し、さらなる成長や飛躍につなげてほしいと考えています。



矢ヶ崎 香 准教授



## COLUMN

### 多彩な考えや価値観に触れる、 学部の枠を越えた活動

学生は、勉学の合間をぬってさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。看護医療学部を拠点とするサークルで、国内外における保健医療活動や研究発表などを行っている学生。湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部生・環境情報学部生との音楽・スポーツ・ビジネスをはじめとした活動や、医学部生・薬学部生とのボランティア活動に力を入れる学生。さらに、学部の枠を越えて体育会に所属し、早慶戦などで活躍する学生もいます。他学部の学生と交流を深め、多彩な考えや価値観に触れられることも、総合大学である慶應義塾ならではの魅力です。

### 意欲や適性を多面的に評価する、 AO入試

看護医療学部は、将来、看護・医療の先導者として人々と社会に貢献できる意欲ある人材を求めています。そこで、一般入試の他に、AO(アドミッションズ・オフィス)入試でも新入生を募集しています。これは、一般の学力試験とは異なる視点や尺度で、入学希望者の意欲・能力・適性などを多面的に判断しようとするものです。筆記試験ではなく、書類審査と面接で合格者を決定します。また、受験生が自由意志で応募できる点もAO入試の大きな特色です。高等学校長の承認・推薦などは必要ありません。詳細は看護医療学部ウェブサイトをご参照ください。

## 入学して思うこと、力を入れて取り組んでいること



### 社会が変わるとき、 変える側に立つ看護師を目指して

私が入学時から心がけているのは、「自分から積極的に動く」ということです。国際保健への興味に基づく活動はその一つです。1年生の夏休みにはSHARE(国際保健協力市民の会)というNGOのスタディツアーでカンボジアの母子保健の現場を体感し、2年生の夏には学部の研修制度である韓国・ウルチ大学との交流プログラムや英国研修に参加し、海外と日本の医療を比較・考察することができました。

一方では、日吉キャンパスにある「慶應義塾大学国際会」という歴史あるディスカッションサークルに所属しています。ふだんは接することのない文系学部の学生との意見交換はとても新鮮で、多様な価値観や考え方に触れられることは大きな魅力です。また、昨年度はピンキングセレモニーの実行委員長を務めました。ピンキングセレモニーは、各自が目指す看護師像を宣言し、「看護師としての誇りや責任の象徴」とされるピンパッチを受け取る式典です。参加した方々からたくさんの感謝の言葉をいただき、委員のみんなで充実感を分かち合うことができました。

今後は関心のある「看護政策」と「老年看護」の分野を中心に学び、臨床経験を積み、大学院に進学してさらに学びを深めていきたいと思っています。私の目標は、「社会が変わるとき、変える側に立つ看護師」になることです。将来的には、すべての人々が生きていることの素晴らしさを感じられる社会の実現に貢献していきたいと考えています。

3年 小瀬良唯  
(長崎県・県立長崎西高等学校 出身)

### 看護や医療の分野にとどまらず、 学びたいことを自由に学ぶ

私が看護の道を志すようになったきっかけは、高校時代の米国留学にあります。ホームステイ先のホストマザーが大学の看護学教員で、彼女の話から興味を持つようになったのです。その後、地元の神奈川で医師体験のイベントに参加し、私がやりたいのは「患者に寄り添う医療」ではないか、その実践には看護師が適しているのではないかと考えるに至りました。大学進学にあたっては、看護や医療の分野にとどまらず、人と関わる仕事のために幅広く学べる慶應義塾を志望しました。

学びは実践的で、実用性に富んでいると思います。先日、街で視覚障害をお持ちの方がエスカレーターを見つけられずに困っていたのですが、授業で同じような障害をお持ちの方の講演を聴いていたおかげで声のかけ方などがわかり、その方の目的地まで付き添うことができました。よく「障害者に理解を」とか「高齢者に優しく」といった言葉を耳にしますが、言うだけでは実際の大変さはわかりません。学びを通し、自信をもってサポートできた経験には大きな満足感がありました。

自分の学びたいことを自由に、自主的に学べる湘南藤沢キャンパス(SFC)は、とても慶應義塾らしいキャンパスだと感じます。私のまわりにも、総合政策学部や環境情報学部の研究会に所属したり、ボランティアに参加する学生がいます。研究したいことがある人、やりたいことがある人の思いに応えてくれる環境が整っていると思います。

2年 島田 宗太郎  
(神奈川県・私立法政大学第二高等学校 出身)



## 医療系三学部の学びへ

### 専門の連携へ、三学部合同教育プログラム

慶應義塾は、医療系に医学部・看護医療学部・薬学部を擁する大学として、三学部が互いに連携し、保健・医療を追求できる人材を育成しています。三学部合同教育プログラムは、「グループアプローチによる患者中心の医療実践」に貢献していくことを目的に、医療系三学部の学生が共に学ぶカリキュラムです。共通のテーマのもと、それぞれの立場を尊重しながら、質の高いチーム医療を提供するための専門職連携のあり方を実践的に学びます。1年次に初期教育、2年次に中期教育、4年次に後期教育を実施するほか、ラオスにおける海外研修プログラムも三学部合同で行われています。



## 世界を実感する学びへ

### 海外で医療を学ぶ、多彩な研修プログラム

春季・夏季休校期間には、看護医療学部独自の海外研修プログラム(選択科目)が4科目用意されています。看護医療を学ぶ早い段階で、海外の医療に触れることから生まれた問題意識は、その後の勉学や実習の中で日本の看護医療のあり方を模索していく原動力となっています。



世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修)	イギリスの医療・看護・福祉の制度とケア提供の実践について、講義や医療施設の見学を通して学びます。
臨床看護実践(海外研修)	アメリカの臨床現場における最新の看護実践を見学し、患者中心の医療について学びます。
プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修)	ラオスにおける地域の人々の保健状況や健康に対する意識を知るとともに、国際協力についても学び、被援助国と援助側の関係、開発におけるパートナーシップ、保健分野における持続可能な開発、プライマリーヘルスケアに主軸をおいた住民中心の健康づくりの可能性について考えます。
看護医療の英語Ⅱ ※2018年度新規実施予定	マギル大学(カナダケベック州モントリオール)で看護学と医療英語を実践的に学びます。

### 海外での学習や活動を支援する、独自の奨学金

看護医療学部の前身、慶應義塾大学医学科付属看護婦養成所卒業生の寄付による「青田と志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金」から、海外研修プログラム4科目と、学生が海外で自主的に行う学習・研究活動に対する奨学金を支給しています。これまでに300人以上がこの奨学金を受給し、アジア諸国でのプライマリーヘルスケアやロンドン・パラリンピックでの調査など、各自の興味に沿った多様なテーマで研究が行われています。(2017年度渡航先: カナダ、韓国、インド、インドネシア、フィリピン、東ティモール、パレスチナ、タンザニア)

# あなたは、どんな“未来の自分”を思い描いていますか

～活躍する卒業生たち～



## 精神看護の技術で、患者さんにいちばんの環境を

私は、看護医療学部3年次の臨床実習で患者さんと関わったことをきっかけに、看護の感情労働としての側面に興味を持ち、卒業論文のテーマとしました。

看護師はよりよいケアを提供しようと一生懸命ですが、看護師も人間であり、患者さんとの相互作用や医療現場の出来事に心を揺さぶられ、バーンアウトしてしまうこともあります。そんなとき、看護師が自身の感情や考えを自覚し(自己一致)、周囲からもサポートを得ることで患者理解を深め、新たな看護ケアに転換していくことができるのです。看護師が、心と身体をフル活用して、患者さんにとっての「治療的な環境」としての役割を果たしているという視点は、現在の活動の原点になっています。

### ご家族や医療スタッフも、ケアの対象

現在は、慶應義塾大学病院の看護部長室に所属して、リエゾン精神看護専門看護師(リエゾナーズ)として働いています。リエゾナーズは、精神看護の知識や技術を活かし、身体疾患を持つ患者さんの心のケアを中心に、ご家族や医療スタッフもケアの対象として、組織横断的な立場で「治療的な環境」を整えていきます。

具体的には、患者さんやご家族と面接し精神療法を取り入れたケアを行ったり、医療スタッフの困り事や葛藤を伺い、患者さんの心の状態を

どう捉えたらよいかという共通認識を持ち、安心して過ごせるような関わり方、セルフケアを促すような関わり方を共有したりします。

### 心のレンズを、相手にも自分自身にも

精神的・心理的な介入には、丁寧さや慎重さとともに相手の持っている力を引き出す存在であることが求められます。そのため、相手の心に近づき寄り添いながらも、支援者として適切であるか、自分自身を俯瞰する作業が必要です。そのように心のレンズの焦点を調整し続けるには忍耐強さが伴いますし、心のケアは明らかな因果関係が目に見えないため、本当に役に立っているのかと悩むこともあります。一方で、患者さんとの信頼関係が築けたときには、微力ながらも患者さんの尊い人生の一場面に立ち会えたような思いがしますし、医療チームとの連携で一人では実現できないケアが生まれたときには大きな喜びがあります。

現在私は2人目の出産を控えているので、今後も職場や家族のサポートを得ながら、ワークライフバランスを意識して自己研鑽を重ね、リエゾナーズとして自身が果たせる役割の幅を広げていきたいと考えています。

2006年卒業 木村 範子  
慶應義塾大学病院 勤務



## 研究者として、看護の実践に根拠を生み出す

私は、看護医療学部の2年次に基礎看護学実習を行いました。しかし、講義や演習で学んだ技術を活かす機会がなく、自分に何ができるかもわからないまま終わってしまい、不全感を抱いていました。そんなタイミングでミルトン・メイヤロフの『ケアの本質』という本を再読し、なぜ不全感を抱いたのか、その答えに行きついたのです。

大切なのは、患者さんに向き合うこと、関心を持って接すること、相手のニーズを考えること。それまで提供者志向だった自分の価値観が、ガラッと変わりました。

### 知的好奇心を駆り立てられた、質的研究

学部卒業後は慶應義塾大学病院の小児病棟で4年間の臨床経験を積み、大学院健康マネジメント研究科修士課程に進学しました。現在は後期博士課程に所属しています。大学院への進学には、学部4年次の選択科目「プロジェクト」を履修したことが大きく影響しています。

「プロジェクト」では、質的研究方法の1つであるグラウンデッド・セオリー・アプローチの基礎を教えてくださいました。インタビューや観察記録という莫大な文字情報から、他者に伝達可能な概念や理論が生成される過程を間近で見て、純粋に知的好奇心を駆り立てられたことを覚えています。その後、臨床で希少疾患や希少症例の子どもや家族に接する

中で、統計処理では漏れてしまう彼らの体験や声をしっかりと記述し、知識として構築できる質的研究を学び究めたいと考えました。

### 看護学だからこそ、いくつものハードル

学びの中で気づいたことがあります。根拠に基づいた実践(Evidence-Based Practice: EBP)の必要性が叫ばれる中、医学的根拠と比べ、看護実践の根拠は曖昧であったり、実は科学的根拠が乏しいものが多いということです。根拠を生み出すためには研究が必要です。全人的に対象者を理解しようとする看護学だからこそ、捉えようとする現象の複雑さ、実践に還元しやすい研究報告方法の難しさなどいくつものハードルがあります。しかし、医学的モデルだけでは理解しきれない人間の健康行動を支援するためには、看護学の知識体系を構築していくことが重要だと考えています。

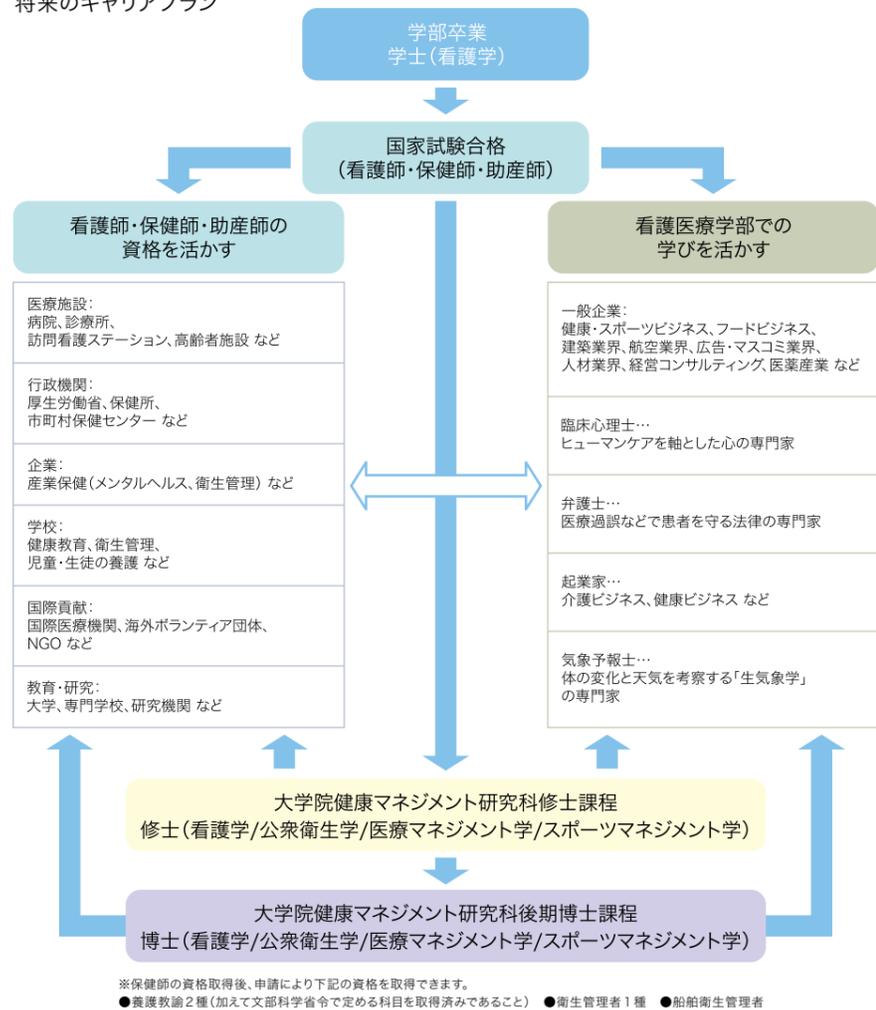
今はまだ自分自身の研究スキルの未熟さを痛感していますが、まずは博士号を取得し、看護の臨床実践の向上に寄与できるような研究者、とりわけて質的研究者になることが将来のビジョンです。

2010年卒業 岩田 真幸  
慶應義塾大学 大学院健康マネジメント研究科 後期博士課程 在籍

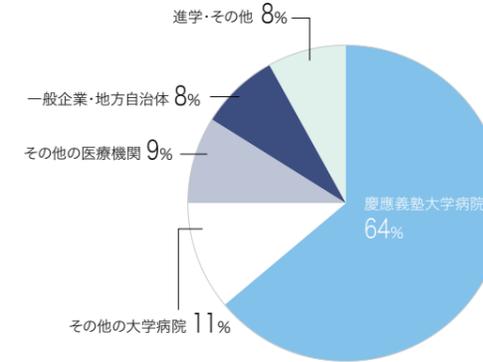
## 卒業後の進路

看護医療学部は、国家試験に合格したのち、9割以上が就職を選択します。  
 慶應義塾大学病院をはじめとする病院や、企業や市町村の保健管理部門などに就職する人。  
 看護の専門性を活かし、一般企業で自らの可能性を広げる人。新たな社会貢献を目指し、起業の道を歩む人。  
 また、さらなる学びを志す人は、大学院などへ進学します。  
 多種多様な進路は、総合大学ならではの広い視野とチャレンジ精神の表れと言えるでしょう。

### 将来のキャリアプラン



## 就職・進学状況



## 主な就職先

72 慶應義塾大学病院	1 湘南鎌倉総合病院
7 東京大学医学部附属病院	横浜労災病院
4 国立がん研究センター	国立国際医療研究センター
2 東海大学医学部附属病院	神奈川県立こども医療センター
神奈川県	全日本空輸
1 東京大学医科学研究所附属病院	電通
京都大学医学部附属病院	ユニクロ
千葉大学医学部附属病院	東京都
日本医科大学付属病院	千葉県
恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院	八王子市
原宿リハビリテーション病院	小金井市

(2018年3月31日現在の本人からの進路届による)

## 大学院 健康マネジメント研究科

学部卒業後すぐ、または数年の実践経験を経て大学院に進学する学生も少なくありません。  
 慶應義塾大学では、あらゆる人々に健康をもたらす、医療やケアの質の向上を先導するための大学院として、  
 看護医療学部を主要な基礎学部とする「健康マネジメント研究科」を設置しています。  
 2018年からは、看護学専攻と公衆衛生・スポーツ健康科学専攻という  
 2つの専攻による新しい教育・研究体制がスタート。看護学(専門看護師コース・研究者コース)、公衆衛生学、  
 医療マネジメント学、スポーツマネジメント学という5つのプログラムがあり、  
 各分野の最先端で活躍する指導教員のもと、健康、医療、ケアのすべてを包括的に学びます。

### 研究科概要

専攻	看護学専攻	修業年限	修士課程 2年
	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻		後期博士課程 3年

### 修了後の進路

看護学専攻では、病院をはじめとした施設や、地域における看護上級実践者および管理職、  
 大学などの教育・研究機関における教育・研究職が主たる進路となります。  
 公衆衛生・スポーツ健康科学専攻では、保健・医療・福祉関連団体から、研究教育機関、  
 国・地方公共団体などの公的組織、スポーツ関連団体、さらに民間企業まで、進路は多岐にわたります。

### 進路希望に応じた保健師・助産師選択コース制

看護医療学部では、保健師・助産師の養成についてきめ細やかに対応できる選択コース制を導入しています。3年次秋学期に希望票を提出し、選抜の結果、履修が許可されると、4年次において卒業に必要な科目と並行して各コースの必修科目を履修します。各コースに設置された科目の中には、コース外の学生が履修できるものもあります。

卒業生全員	看護師国家試験受験資格	※保健師選択コースと助産師選択コースを同時に選択することはできません。
保健師選択コース修了者(20名程度)	看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格	
助産師選択コース修了者(最大6名、女子のみ)	看護師国家試験受験資格・助産師国家試験受験資格	

# 慶應義塾 看護100年のあゆみ

慶應義塾は、2018(平成30)年、看護教育が始まってから100年という大きな節目を迎えます。その長きにわたる歴史を振り返り、年表や写真とともにご紹介します。

- 1858 (安政5) 江戸築地鉄砲洲に福澤諭吉が蘭学塾を開く。慶應義塾の原点。
- 1917 (大正6) 慶應義塾大学医学科を開設。
- 1918 (大正7) 医学科付属看護婦養成所を開設し、第一回生の養成を開始。
- 1920 (大正9) 医学部を開設し、慶應義塾大学病院を開設。
- 1922 (大正11) 医学部付属産婆養成所を開設。
- 1938 (昭和13) 医学部付属看護婦養成所と改称。
- 1944 (昭和19) 医学部付属看護婦産婆養成所と改称。
- 1945 (昭和20) 空襲により医学部・病院施設の6割が焼失。
- 1950 (昭和25) 保健婦助産婦看護法により、医学部付属厚生女子学院と改称。
- 1954 (昭和29) 医学部付属看護婦学院を設置。
- 1960 (昭和35) 看護婦進学コースとして別科課程を設置。
- 1971 (昭和46) 大学病院付属高等看護学院(准看護婦の夜間進学コース)を設置。
- 1977 (昭和52) 学校教育法、施行規則などの一部改正により、厚生女子学院は専修学校となる(看護専門課程本科、進学科一部、進学科二部)。
- 1978 (昭和53) 厚生女子学院創立60周年記念式典を開催。
- 1988 (昭和63) 看護短期大学を開設。
- 2001 (平成13) 湘南藤沢キャンパス(SFC)に看護医療学部を開設。
- 2005 (平成17) 大学院健康マネジメント研究科(修士課程)を開設。
- 2007 (平成19) 大学院健康マネジメント研究科(博士課程)を開設。
- 2011 (平成23) 医療系三学部(医学部・看護医療学部・薬学部)による合同教育を開始。
- 2018 (平成30) 慶應看護100年。

## 慶應看護の始まり

慶應義塾における看護教育は、1918(大正7)年に、「慶應義塾大学医学科付属看護婦養成所」が開設されたことに始まります。54名の第一回生を迎え、看護教育がスタートしました。



慶應義塾大学病院全景(昭和初期)



整形外科処置実習風景(昭和初期)



ひなまつり(昭和17年)

## 「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育を継承

戦争の大きなダメージから立ち直った「看護婦産婆養成所」は、1950(昭和25)年、「厚生女子学院」として新たなスタートを切りました。看護婦免許は、地方免許から国家免許となりました。



内科診療実習(昭和10年頃)



福澤諭吉遺墨「独立自尊」



慶應義塾大学病院外来玄関(昭和10年頃)



慶應義塾大学病院周辺(昭和30年頃)

## 21世紀の看護・医療の先導を目指して

21世紀のスタートとともに、看護医療学部が開設されました。大きく変動する時代の中で、看護・医療の先導的な役割を果たす人材の育成を目指し、幅広い看護教育を展開しています。



看護医療学部実習風景

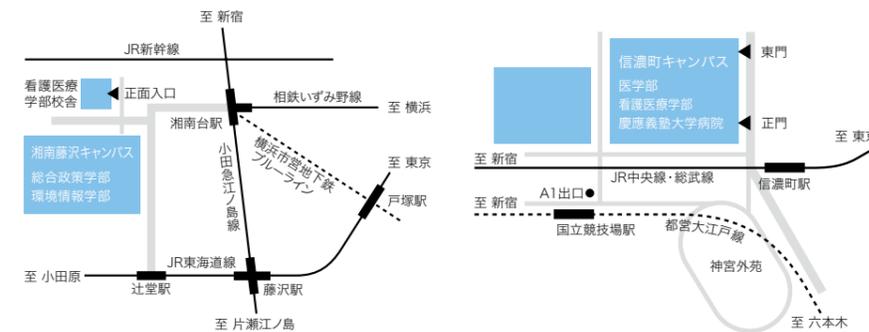


看護医療学部校舎



信濃町キャンパス 孝義舎

## Campus & Access



**湘南藤沢キャンパス(SFC)**  
〒252-0883 神奈川県藤沢市遼藤4411  
湘南藤沢事務室看護医療学部担当  
TEL 0466-49-6200

- 湘南台駅(小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/横浜市営地下鉄ブルーライン)西口よりバス[慶応大学]行き約15分  
横浜～湘南台=約30～40分
- 辻堂駅(JR東海道線)北口よりバス[慶応大学]行き約25分  
横浜～辻堂=約30分
- ✦羽田空港～上大岡～湘南台=約70～75分

**信濃町キャンパス**  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35  
信濃町キャンパス学生課  
TEL 03-5363-3662

- 信濃町駅(JR中央線・総武線各駅停車)徒歩1分  
新宿～信濃町=約6分  
東京～秋葉原～信濃町=約20分
- 国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩5分  
新宿～国立競技場=約6分
- ✦羽田空港～浜松町・大門～国立競技場=約45～55分



## SFCの学びを結び「鴨池急行 SoKanKan」

湘南藤沢キャンパス(SFC)における、学部の枠を越えた幅広い学びを支える無料シャトルバス。本館ゾーンと看護医療学部ゾーンを結びます。